LG
Life's Good

取扱説明書

IPS LEDモニター
(LEDモニター*)

*LG の液晶モニターはLED バックライトを採用したLCD 製品です。

このたびはLG製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

27HJ712C

www.lg.com

Copyright ⓒ 2019 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

日本語

目次

お手入れについて ---------- 3

ライセンス ---------- 3

組み立てと準備 ---------- 4

モニターの接続 ----------19

ユーザー設定 ----------23

困ったとき ----------38

製品仕様 ----------41

お手入れについて

推奨洗剤

- イソプロパノール100%
- エタノール70%
- Cidex® OPA
- 濃度0.9%の塩水
- Biospot 500 ppm

洗剤の使い方

- お手入れする前に、モニターの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外してください。
- 柔らかい布を推奨洗剤に浸し、画面を軽く拭きます。1 N以上の力を加えないでください。
- モニター内に洗剤が入ると、故障や破損の原因となるおそれがあります。
- 画面は傷つきやすいので、液晶パネルをお手入れしてください。
- シンナー、ベンゼン、酸性/アルカリ性腐食性科学洗剤などの溶剤は使用しないでください。
- 本製品のお手入れは、医療従事者（医師または看護師）以外は行わないでください。患者には触らせないでください。

ライセンス

サポートされているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、*www.lg.com* を参照してください。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

VESA、VESA ロゴ、Display Port Compliance ロゴ、Display Port Compliance ロゴ（デュアルモード ソース用）はすべて、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Incの登録商標です。

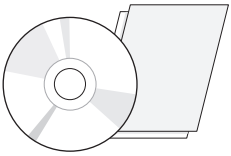
“DICOM®は、医療情報のデジタル通信に関連する規格出版物に対するNational Electrical Manufacturers Associationの登録商標です。”

組み立てと準備

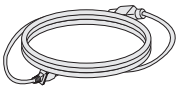
同梱品

製品を使用する前に、すべての付属品が揃っているか確認してください。万が一、付属品が不足している場合は、製品を購入した販売店にお問い合わせください。

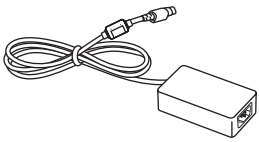
本取扱説明書は日本で発売する製品を前提に作成されています。日本以外でお求めの場合、製品型番、製品の仕様、付属品等が異なることがあります。



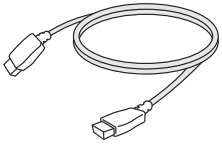
CD-ROM（取扱説明書/ソフトウェア/ガイド収録）/および各種カード



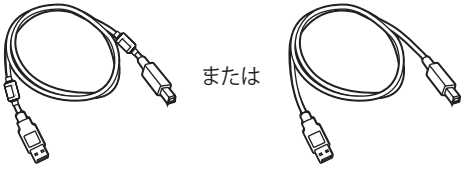
電源コード



AC/DCアダプター



HDMIケーブル



または

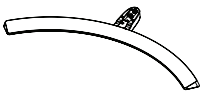
A - BタイプUSB 3.0ケーブル



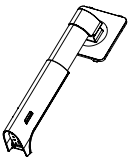
DisplayPortケーブル



ケーブルホルダー



スタンドベース



スタンドネック

注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 付属品以外の使用による破損やケガは、保証の対象外になります。
- 弊社推奨品以外の汎用ケーブルを使用すると、画面が写らなかったり画像にノイズが発生する場合があります。

ヒント

- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の予告なしに変更されることがあります。
- オプションの付属品を購入するには、最寄りの電器店またはオンラインショッピングサイトをご利用になるか、製品を購入した販売店にお問い合わせください。
- 付属の電源コードは、地域によって異なります。

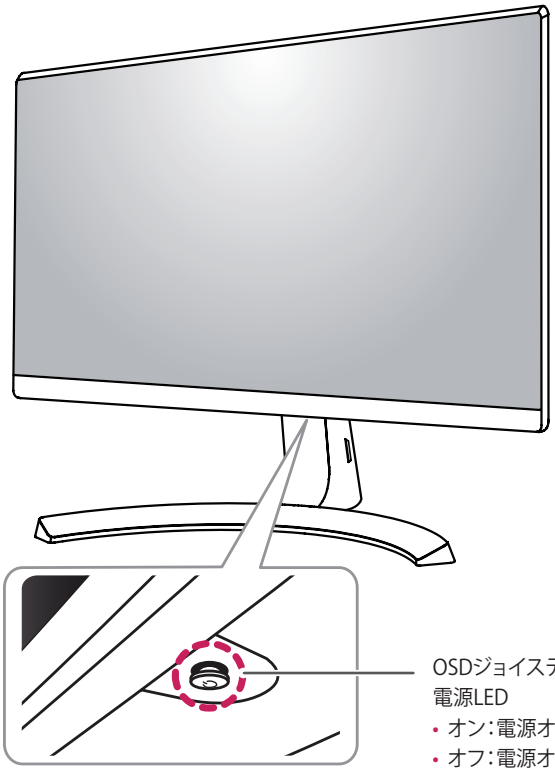
サポートされているドライバーとソフトウェア

お使いの製品がサポートしているドライバーとソフトウェアをご確認のうえ、製品パッケージに同梱のCDの取扱説明書を参照してください。

ドライバーとソフトウェア	インストールの優先順位	27HJ712C
モニタードライバー	推奨	O
OnScreen Control	オプション	O
Dual Controller	オプション	O
True Color Pro	オプション	O

- 必須/推奨：同梱のCDまたはLGEのWebサイト（*www.lg.com*）から、最新バージョンをダウンロードしてインストールできます。
- オプション: LGEのWebサイト（*www.lg.com*）から、最新バージョンをダウンロードしてインストールできます。

コンポーネントとボタンの説明

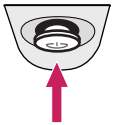


OSDジョイスティック
電源LED
- オン：電源オン
- オフ：電源オフ

OSDジョイスティックの使用方法

OSDジョイスティックを指で押したり、左右に動かしたりすることで各種機能を簡単に操作できます。

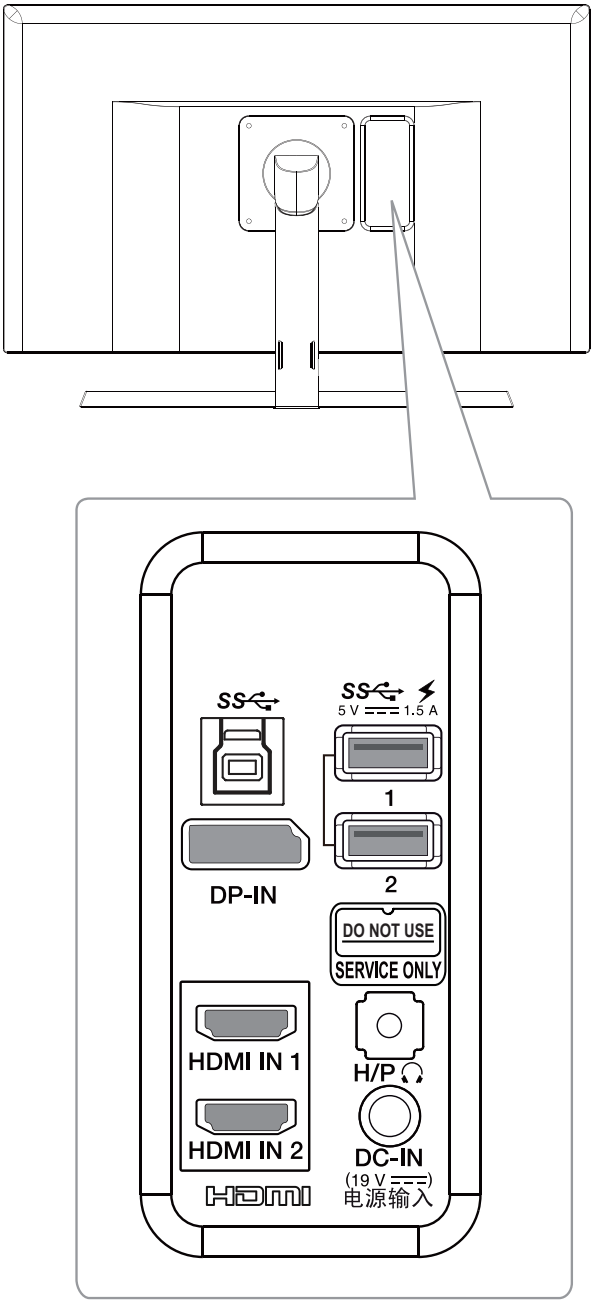
基本機能

		**電源オン**	OSDジョイスティックを指で押すと、モニターの電源がオンになります。
		**電源オフ**	OSDジョイスティックを指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。
	◀/▶	**音量コントロール**	OSDジョイスティックを左右に動かすことで音量を調整できます。

ヒント

- OSDジョイスティックはモニターの底面に付いています。

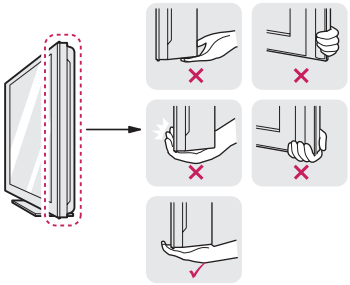
入力コネクター

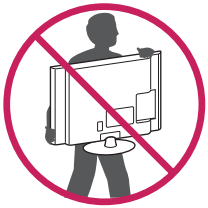

SS
SS
5 V 1.5 A
1
2
DP-IN
DO NOT USE
SERVICE ONLY
HDMI IN 1
HDMI IN 2
HDMI
H/P
DC-IN
(19 V)
电源输入

モニターの持ち運び

モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの損傷や破損を防いで安全に輸送できるように、形状やサイズに関係なく、次の取り扱い上の指示に従ってください。

- 搬送するときは、元の梱包箱や梱包材にモニターを梱包することをお勧めします。
- モニターを持ち運ぶ前に、電源コードおよびすべてのケーブルを取り外してください。
- モニターのフレームの側部および下部をしっかりと持ちます。パネル自体はつかまないでください。

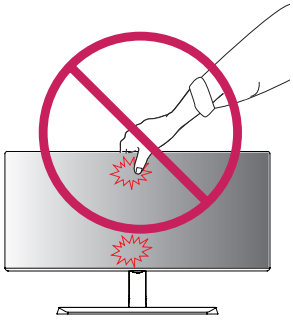




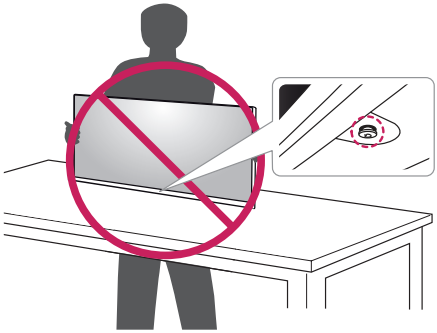
- モニターセットを持つ場合は、画面に傷が付かないように、画面を体の外側に向けてください。
- モニターセットを搬送する場合は、衝撃や激しい振動にさらさないように注意してください。
- モニターを動かすときは、直立した状態を維持し、モニターを横に倒したり、左右に傾けたりしないでください。

注意

- できる限り、モニターの画面には触れないでください。
  - 画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。



- モニターの底面にはOSDジョイスティックが突き出ているため、スタンドベースを利用しないとモニターがぐらついて倒れるおそれがあり、モニターの損傷またはけがの原因となります。また、それと同じ理由で、OSDジョイスティックが適切に機能しなくなることがあります。

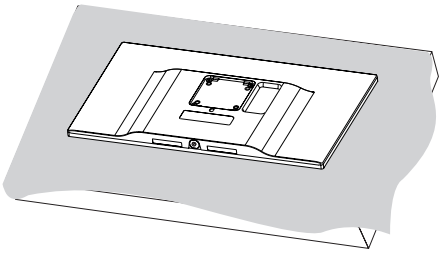


モニターを設置する

スタンドベースの取り付け

- 本書の図は代表的な手順を示しており、実際の製品と異なる場合があります。

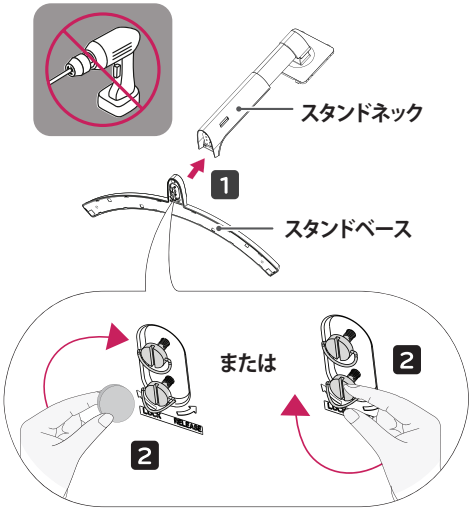
1



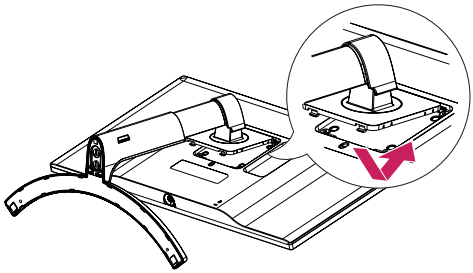
注意

- 画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いて作業してください。

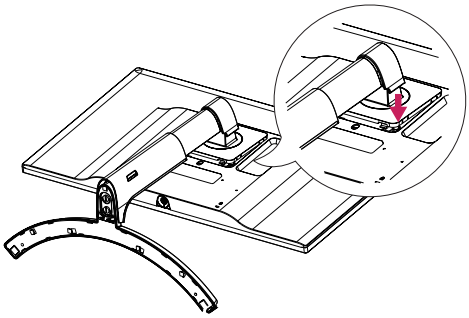
2



3

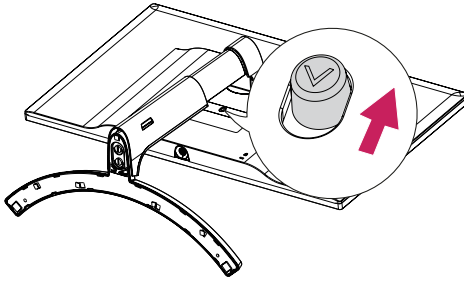


4



ヒント

- ボタンが上部に当たるまでスタンドを押します。



注意

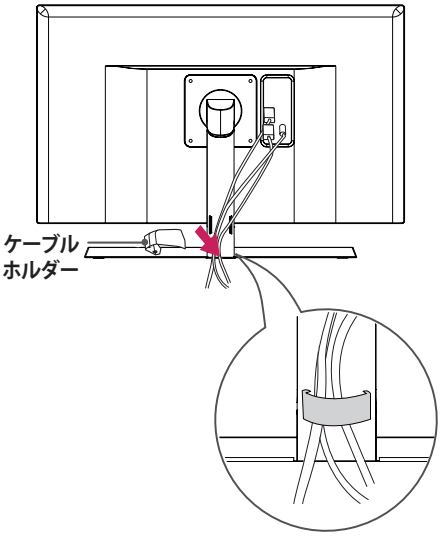
- 本書の図は代表的な手順を示しており、実際の製品と異なる場合があります。
- 製品を組み立てる際に、ねじ部品に異物（オイル、潤滑剤など）を使用しないでください。
（製品が損傷する可能性があります。）
- ネジを留めるときに過剰な力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。このような原因で損傷した場合、本製品の保証の対象にはなりません。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがベースから外れて落ち、けがをするおそれがあります。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニター画面に触れないように運んでください。モニター画面に力をかけると、モニターが損傷するおそれがあります。

ヒント

- スタンドの分解は、組み立ての作業を逆順にさかのぼって行います。

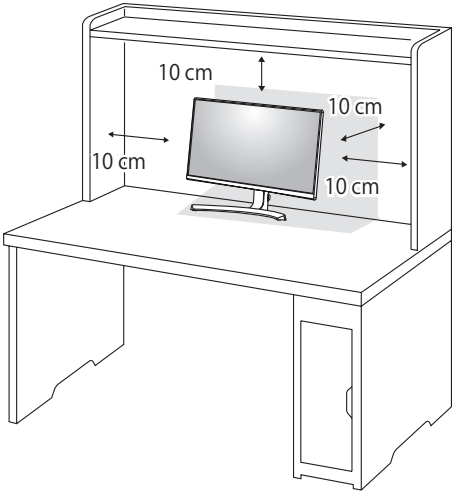
ケーブルの配置

イラストのようにケーブルホルダーで、ケーブル類をまとめることをお勧めします。

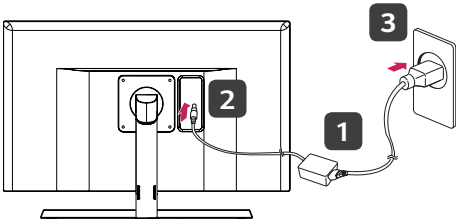


テーブルへの設置

1 モニターを持ち上げ、直立させた状態でテーブルの上に置きます。十分な通気性を確保するため、モニターは壁から少なくとも10 cm離します。



2 モニター本体にAC/DC アダプタを接続して、AC/DCアダプタと電源コードをつないで電源プラグをコンセントに差し込みます。

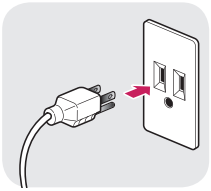


3 モニター本体下部のOSDジョイスティックを押して電源をオンにします。

⚠ 注意

- モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。

電源コードの接続に関する注意事項

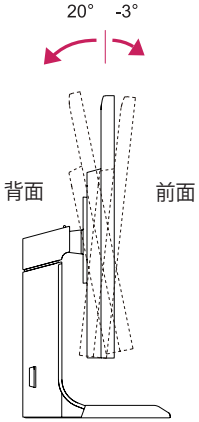


交流100 V

- 電源は、AC100V（50/60Hz）のコンセント を使用して下さい。指定以外の電源を使用すると火災の原因になることがあります。
- 製品パッケージ付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。

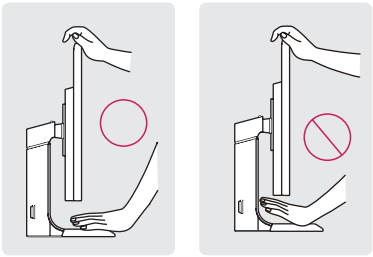
角度の調整

1 スタンド基部に取り付けたモニターを直立した状態で置きます。
2 画面の角度を調整します。画面の傾きは、快適に見られるように前後に調整できます。



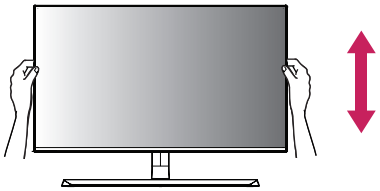
警告

- 画面を調整するときは、下のイラストのようにモニターのフレームの下部をつかまないでください。指をはさむおそれがあります。



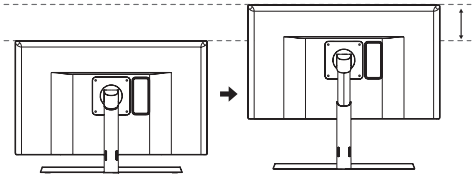
スタンドの高さの調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。(液晶パネルには触れないようにしてください。)

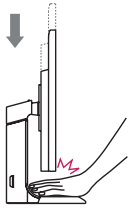


3 最大で110.0 mmの高さに調整できます。

110.0 mm



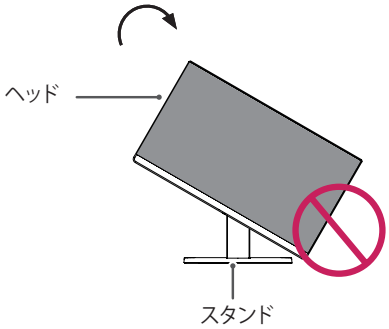
警告



- 画面の高さを調整するときに、画面とスタンドベース(シャーシ)の間に指や手を置かないでください。

ピボット機能

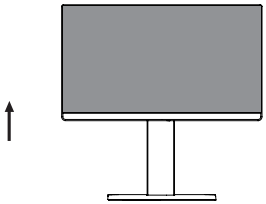
ピボット機能により、モニターを時計回りに90°回転できます。



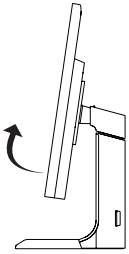
警告

- ピボット機能を使用してモニターを回転する場合は、スタンドベースに傷が付くのを防ぐため、スタンドがモニターに接触しないようにしてください。

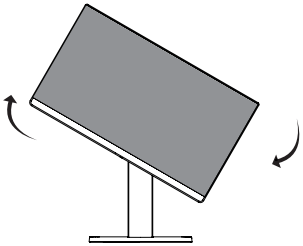
1 モニターの高さを最大限にします。



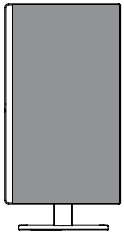
2 図に示したように、矢印の方向にモニターの角度を調整します。



3 図に示したように、モニターを時計回りに回転させます。



4 下のようにモニターを90度回転させて完了です。

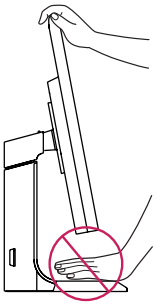


ヒント

- オートピボット機能はサポートされていません。
- Windowsオペレーティングシステムには、表示内容を回転するためのショートカットキーが割り当てられています。この機能を使用すれば、表示内容を簡単に回転できます。ただし、一部のWindowsのバージョンやグラフィックカードドライバでは、これらのショートカットキーの割り当てが異なっている場合や、サポートされていない場合があります。
- Windowsでは、以下のショートカットキーで表示内容を回転できます
  - 0°：Ctrl + Alt + 上向き矢印（↑）
  - 90°：Ctrl + Alt + 左向き矢印（←）
  - 180°：Ctrl + Alt + 下向き矢印（↓）
  - 270°：Ctrl + Alt + 右向き矢印（→）

警告

- ケーブルを接続したままモニターを回転させる場合は注意してください。
- モニターを回転する場合は、けがを防ぐため、モニターとスタンドベースの間に指を置かないでください。

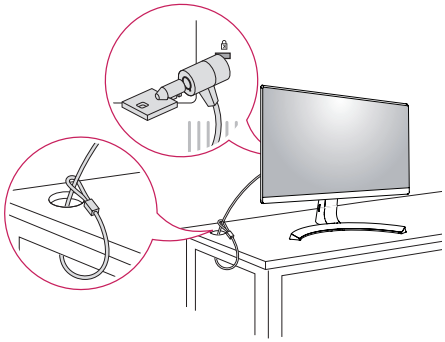


Kensingtonロックの使用

Kensingtonセキュリティシステムコネクターは、モニターセットの背面にあります。

取り付けおよび使用方法については、ケンジントンロックの取扱説明書を参照するか、ケンジントン社のWebサイト（*http://www.kensington.com*）をご覧ください。

Kensingtonセキュリティシステムケーブルを接続し、モニターセットをテーブルに固定します。

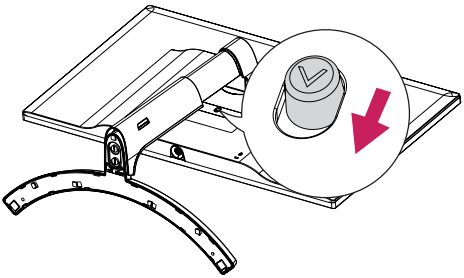


ヒント

- Kensingtonセキュリティーシステムはオプション部品です。オプションの付属品は、ほとんどの電器店で購入できます。

スタンドネックの取り外し

1 モニターの画面を下に向けて置きます。画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いて作業してください。
2 モニター背面の底部中央にあるボタンを下に押して、モニターをスタンドから取り外します。



壁掛け金具を取り付ける

このモニターは、標準の壁掛け用プレートまたは互換性のある機器の仕様に対応しています。

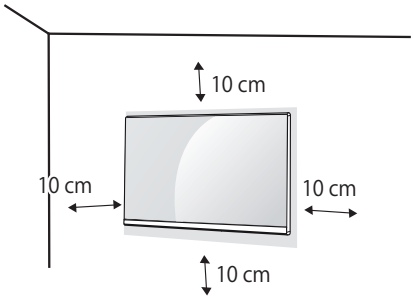
1 画面を下向きにして置きます。画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いて作業してください。
2 ドライバーを使用して4つのネジを、モニターの後部から外します。
3 モニターの上に壁掛け用プレートを置き、ネジ穴を合わせます。
4 ドライバーを使用して4つのネジを絞めて、プレートをモニターに固定します。

ヒント

- 壁掛け金具は別売りです。
- 詳細については、壁掛け金具付属の取扱説明書をご覧ください。また、取り付けに必要な部品は壁掛け金具に付属しています。
- 壁掛け用プレートを取り付けるときは、モニターの画面を破損するおそれがあるため、過剰な力を加えないよう注意してください。

壁への取り付け

十分な通気性を確保するため、モニターは壁から少なくとも10 cm離して取り付け、モニターの両側はそれぞれ約10 cm空けてください。設置に関する詳細な説明については、最寄りの販売店にお問い合わせください。傾斜付き壁掛け金具の取り付けおよび設置については、マニュアルを参照してください。



モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け金具(別売)をモニターの背面に取り付けます。
壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

1 標準より長いネジを使用した場合、モニターの内部が破損するおそれがあります。
2 不適切なネジを使用した場合、モニターが破損し、取り付け位置から落下する可能性があります。LG Electronicsはこのような場合についての責任は負いません。

壁掛け(mm)	100 x 100
標準ネジ	M4 x L10
必要なネジ	4

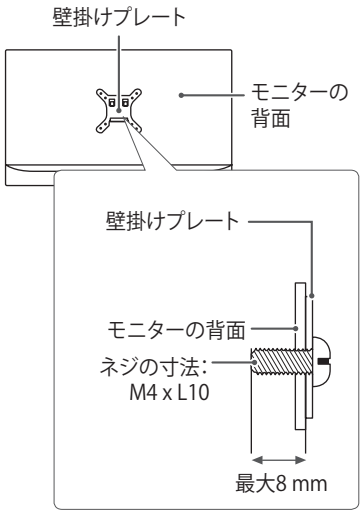
弊社では、弊社の壁掛け金具(別売)RW120で、壁面取り付けに関する機械的危険の安全試験を実施しています。試験結果はこの組み合わせにのみ適用されます。
他の壁掛け金具を使用する場合は、IEC 60950-1の要件に適合した評価が必要です。

ヒント

- VESA規格で指定されているネジを使用します。
- 壁かけに必要な部品やマニュアルは、壁掛け 金具に付属されています。設置に関する詳細 は、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。
- 壁掛け用金具は別売品です。追加の付属品 については、PC専門店や家電量販店、通販 サイトなどでご購入できます。
- ネジの長さは取り付ける壁の状態や素材によって異なります。適切な種類と長さのネジ を使用してください。

注意

- 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブ ルを外してから行ってください。ケーブル を取り外さずに移動、設置すると落下して 負傷や感電のおそれがあります。
- モニターは天井や傾斜面には取り付けない でください。落下により重大な負傷につな がる恐れがあります。
- 正規品以外の壁掛け金具を使用したり、ネ ジの締め過ぎ等による損傷は保証外となり ますので注意してください。
- VESA規格に準拠した壁掛け用金具とネジを使用してください。取り付けの不備による製品の損傷または落下した場合は保証の対象外となりますので十分ご注意の上、作業してください。
- 背面カバーの外側に使うネジの長さは、8 mm以下です。



モニターの接続

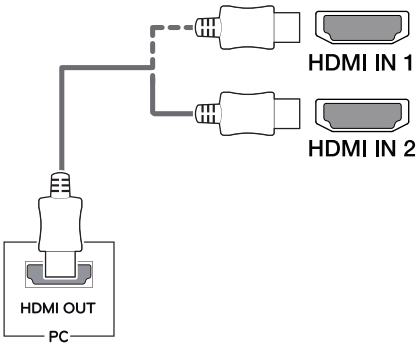
PCへの接続

- 本機は、プラグアンドプレイに対応しています。

* プラグアンドプレイ：PC に機器を接続して電源を入れると、設定や操作をしなくても、PC で認識して OS の標準ドライバがインストールされます。

HDMI接続

PCからモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。次の図のように、HDMIケーブルを使用してモニターとPCを接続します。

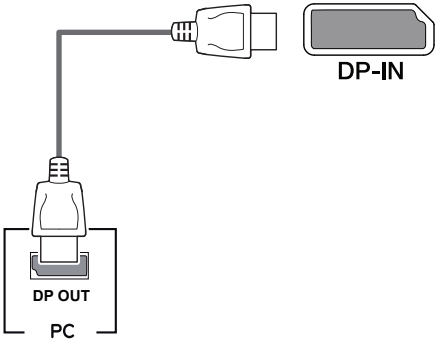


⚠ 注意

- 製品に付属のHDMIケーブルを使用していることを確認してください。それ以外のケーブルの使用は誤作動の原因になることがあります。
- HDMIケーブルでPCと接続した場合、まれに互換性の問題が発生することがあります。
- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証されたHDMIケーブルをご使用ください。
  HDMI Licensing LLCで認証されていないHDMIケーブルやハイスピードに対応してない標準HDMIケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します
  - ハイスピードHDMI®/™ ケーブル
  - ハイスピードHDMI®/™ ケーブル

DisplayPort接続

PCからモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。次の図のように、DisplayPortケーブルを使用してモニターをPCに接続します。



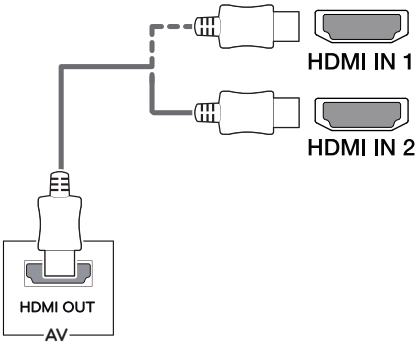
ヒント

- PCのDisplayPortのバージョンによっては、映像または音声が出力されないことがあります。
- 製品に付属のDisplayPortケーブルを使用していることを確認してください。それ以外のケーブルの使用は誤作動の原因になることがあります。
- 弊社推奨品以外のケーブルを使用すると、画面が写らなかったり画像にノイズが発生する場合があります。

AV機器の接続

HDMI接続

HDMIは、映像と音声のデジタル信号をAV機器からモニターへ送信するためのインターフェイスです。下の図のように、HDMIケーブルを使用してモニターにAV機器を接続します。



ヒント

- 製品に付属のHDMIケーブルを使用していることを確認してください。それ以外のケーブルの使用は誤作動の原因になることがあります。
- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証されたHDMIケーブルをご使用ください。
  HDMI Licensing LLCで認証されていないHDMIケーブルやハイスピードに対応してない標準HDMIケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します
  - ハイスピードHDMI®/™ ケーブル
  - ハイスピードHDMI®/™ ケーブル

周辺機器の接続

USBケーブル接続 - PC

USBダウンストリーム端子は、USBハブとして機能します。

ヒント

- 使用する前に、PCに最新のWindows OSサービスパックがインストールされていることを確認してください。
- 周辺機器は別売りです。
- キーボード、マウス、USBデバイスをUSBダウンストリーム端子に接続できます。
- **[全般]** > **[USBクイック充電]**に移動して、**[USBクイック充電]**を**[オン]**または**[オフ]**に設定します。
- 充電速度はUSBデバイスに応じて異なります。



注意

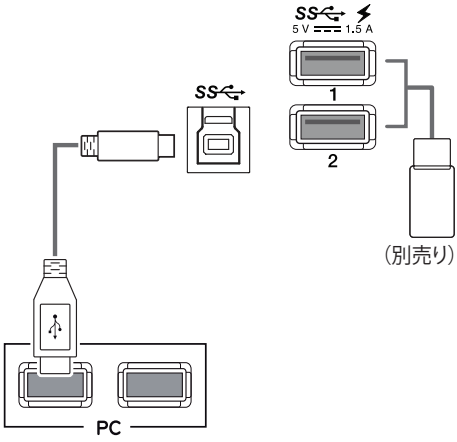
USBデバイス使用時の注意事項

- 自動認識プログラムがインストールされているUSBデバイスや独自のドライバーを使用するUSBデバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
- すべてのUSBデバイスの動作を保証するものではありません。
- 電源アダプタのあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします（供給電力が十分でない場合、USBデバイスが正しく認識されないことがあります）。

HDMI/DP（DisplayPort）接続

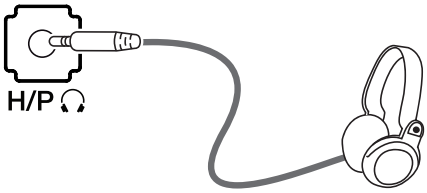
USB 3.0を使用する場合は、本製品のA - BタイプUSB 3.0ケーブルをPCに接続します。

USB ダウンストリーム端子に接続された周辺機器をPCから操作できます。



ヘッドフォンの接続

ヘッドホン端子(ミニプラグ)に、ヘッドホン、イヤホン、スピーカーなどを接続できます。



（別売り）

ヒント

- 周辺機器は別売りです。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L字型になっているコネクタの場合、モニターに当たり差し込めなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L型



ストレート型

- PCや外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンやスピーカーの機能が制限されることがあります。

サービス専用USB端子

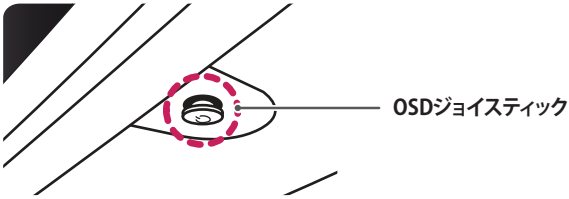
このポートは「サービス」のみに使用されます。

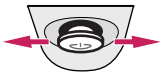


ユーザー設定

メインメニューの表示

1 モニターの底面にあるOSDジョイスティックを押します。
2 OSDジョイスティックを前後(▲/▼)、左/右(◀/▶)にに倒して各種設定を行います。
3 OSDジョイスティックをもう一度押すとメインメニューが終了します。



ボタン	メニューの状態		説明
	**メインメニュー非表示時**		ナビゲーションOSD を表示します。
	メインメニュー表示時		ナビゲーションOSD を終了します。 (ボタンを押し続けるとモニターがオフになります。OSDがオンの場合を含み、いつでもこの方法でモニターをオフにできます。)
	◀	**メインメニュー非表示時**	スピーカーまたはヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を調節します。
		メインメニュー表示時	**[Menu]**に移動し、モニターの各種設定を行います。
	▶	**メインメニュー非表示時**	スピーカーまたはヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を調節します。
		メインメニュー表示時	**[入力]**に移動し、画面に表示する入力端子を選択します。
	▲	**メインメニュー非表示時**	ナビゲーションOSD を表示します。
		メインメニュー表示時	**[ピクチャーモード]**機能に移動します。
	▼	**メインメニュー非表示時**	ナビゲーションOSD を表示します。
		メインメニュー表示時	モニターをオフにします。

メインメニューの機能



メインメニュー	説明
Menu	設定メニューを表示します。
ピクチャーモード	画面に表示させる内容に合わせて映像モード(プリセット)を選択できます。
入力	表示させる入力端子を選択します。
画面オフ	モニターをオフにします。
終了	メインメニューを終了します。

ユーザー設定

[Menu]設定

1 メインメニューの表示は モニター底面にあるOSDジョイスティックを押します。OSDジョイスティックを左(◀)に倒して、**[Menu]**を選択すると、OSDメニューが表示されます。
2 OSDジョイスティックを前後左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
3 一つ前のメニューに戻る場合、別のメニューを設定する場合は、OSDジョイスティックを◀に倒すか、該当の設定項目を決定(◉/OK)します。
4 設定メニューを終了させる場合は、OSDジョイスティックを左(◀)に数回(設定メニューの階層によります)倒します。

• OSDメニューの右下にOSDジョイスティックの操作方法が表示されます。


クイック設定


PBP


画質


全般


リセット

各オプションは次のとおりです。

Menu		説明
クイック設定	**明るさ**	画面の明るさとコントラストを調整します。
	コントラスト	
	音量	音量を調節します。 **ヒント** • **[音量]**メニューが表示されているときにOSDジョイスティックを▼の方向へ動かすと、**[ミュート]/[ミュートを解除]**が設定できます。
	入力	各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。
	画面サイズ	画面の縦横比を調整します。
PBP	**PBP**	1台のモニターに、接続された二つの機器を同時に表示します。
画質	**ピクチャーモード**	画面に表示させる内容に合わせて映像モード(プリセット)を選択できます。
	画像調整	**[Brightness Stabilization]**、**[SUPER RESOLUTION+]**、**[シャープネス]**、**[ブラックレベル]**、**[HDMI ULTRA HD Deep Color]**、**[DFC]**、**[応答速度]**、**[ブラックスタビライザー]**と**[ユニフォミティ]**を調整します。
	カラー調整	**[ガンマ]**、**[色温度]**、**[6色相環]**を調整します。
全般		**[言語]**、**[SMART ENERGY SAVING]**、**[電源LED]**、**[自動スタンバイ]**、**[DisplayPort 1.2]**、**[USBクイック充電]**、**[Beep音]**、**[OSDロック]**を設定します。
リセット		初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。
◄	**終了**	OSDメニューを終了します。

注意

• 実際のモニターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）はイメージです。実際のメニューと多少異なる場合があります。

クイック設定

1 メインメニューの表示は モニター底面にあるOSDジョイスティックを押します。OSDジョイスティックを右(►) に倒して、**[Menu]**を選択すると、OSDメニューが表示されます。
2 OSDジョイスティックを動かして**[クイック設定]**に移動します。
3 画面の右下に表示される指示に従って各オプションを設定します。
4 一つ前のメニューに戻る場合、別のメニューを設定する場合は、OSDジョイスティックを◄に倒すか、該当の設定項目を決定(◉/OK)します。
5 OSDメニューを終了する場合は、OSDメニューが終了するまでOSDジョイスティックを◄の方向へ動かします。

各オプションは次のとおりです。

Menu > クイック設定	説明
明るさ	画面の明るさを調整します。 **ヒント** • **[Brightness Stabilization]**の調整は、**[明るさ]**メニューの**[オン]**/**[オフ]**▼ボタンを押して調整できます。 • **[Brightness Stabilization]**が**[オン]**の場合、**[明るさ]**メニューは使用できません。 • **[Brightness Stabilization]**が**[オン]**の場合、**[SMART ENERGY SAVING]**と**[DFC]**メニューは使用できません。 • **[ピクチャーモード]**が**[DICOM]**に設定されているか、**[ガンマ]**が**[DICOM ガンマカーブ]**に設定されている場合、**[明るさ]**の調整機能は無効になります。
コントラスト	画面のカラーコントラストを調整します。

Menu > クイック設定	説明	
音量	音量を調節します。 **ヒント** • **[音量]**メニューが表示されているときにOSDジョイスティックを▼の方向へ動かすと、**[ミュート]**/**[ミュートを解除]**が設定できます。	
入力	各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。	
画面サイズ	画面の縦横比を調整します。	
	ワイド	税増ソースの解像度に関係なく、映像を画面全体に表示します。
	オリジナル	映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
	1:1	映像ソースの解像度で表示します。

ヒント

- 本機の推奨解像度(3840 x 2160)で表示している場合は、**[ワイド]**、**[オリジナル]**、**[1:1]**に設定しても、表示は変わりません。
- インターレース信号の場合は、画面サイズを変更できません。

PBP

1 メインメニューの表示は モニター底面にあるOSDジョイスティックを押します。OSDジョイスティックを右(►) に倒して、**[Menu]**を選択すると、OSDメニューが表示されます。
2 OSDジョイスティックを動かして**[PBP]**に移動します。
3 画面の右下に表示される指示に従って各オプションを設定します。
4 一つ前のメニューに戻る場合、別のメニューを設定する場合は、OSDジョイスティックを◄に倒すか、該当の設定項目を決定(◉/OK)します。
5 OSDメニューを終了する場合は、OSDメニューが終了するまでOSDジョイスティックを◄の方向へ動かします。

各オプションは次のとおりです。

<table>
<tr><th>Menu > PBP</th><th colspan="5">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="5">サブ</td><td colspan="5">1台のモニターに、接続された二つの機器を同時に表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">PBP接続</td><td colspan="3">サブ画面(右)</td></tr>
<tr><td>HDMI 1</td><td>HDMI 2</td><td>DisplayPort</td></tr>
<tr><td rowspan="3">メイン画面
(左)</td><td>HDMI 1</td><td>-</td><td>X</td><td>O</td></tr>
<tr><td>HDMI 2</td><td>X</td><td>-</td><td>O</td></tr>
<tr><td>DisplayPort</td><td>O</td><td>O</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="3">サウンド出力</td><td colspan="5">[PBP]モードの音声出力を変更します。</td></tr>
<tr><td>メイン</td><td colspan="4">[メイン]の入力を選択します。</td></tr>
<tr><td>サブ</td><td colspan="4">[サブ]の入力を選択します。</td></tr>
<tr><td>画面切換</td><td colspan="5">[PBP]モードのメイン画面とサブ画面を切り替えます。</td></tr>
<tr><td>フル画面(サブ)</td><td colspan="5">[PBP]モードのサブ画面を全画面に表示します。</td></tr>
</table>

Menu > PBP	説明		
画面サイズ	メイン画面またはサブ画面の縦横比を調整します。		
	メイン	**ワイド**	映像信号の入力に関係なく、PBP / PIP画面のサイズに合わせて映像を表示します。
		オリジナル	映像信号入力のアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
	サブ	**ワイド**	映像信号の入力に関係なく、PBP / PIP画面のサイズに合わせて映像を表示します。
		オリジナル	映像信号入力のアスペクト比を保持して画面最大に表示します。

ヒント

- **[サブ]**モードが**[オフ]**の場合、**[サウンド出力]**、**[画面切換]**、**[フル画面(サブ)]**、**[画面サイズ]**の各メニューは無効になります。**[画面サイズ]**の**[メイン]**/**[サブ]**オプションは信号がない場合、無効になります。
- **[PBP]**モードが選択されると、**[PBP]**モードに適した解像度が自動的に設定されます。

画質

1 メインメニューの表示は モニター底面にあるOSDジョイスティックを押します。OSDジョイスティックを右(►) に倒して、**[Menu]**を選択すると、OSDメニューが表示されます。
2 OSDジョイスティックを動かして**[画質]**に移動します。
3 画面の右下に表示される指示に従って各オプションを設定します。
4 一つ前のメニューに戻る場合、別のメニューを設定する場合は、OSDジョイスティックを◀に倒すか、該当の設定項目を決定(◉/OK)します。
5 OSDメニューを終了する場合は、OSDメニューが終了するまでOSDジョイスティックを◀の方向へ動かします。

各オプションは次のとおりです。

Menu > 画質	**説明**	
ピクチャーモード	**ユーザー設定**	**[画像調整]**で設定した色合いを表示します。
	Mono	映像をモノクローム(白黒)で表示させます。
	ブルーライト低減モード	画面表示を紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューで**[明るさ]**の調節ができます。
	sRGB	sRGBの色空間で表示します。
	色覚調整	P型及びD型の色覚用のカラーモードです。赤色、緑色の表示を区別できるように配色されます。

Menu > 画質	説明		
ピクチャーモード	EBU	欧州放送連合のPAL方式で使用される色空間を再現します。	
	REC709	HDTV向けスタジオ規格Rec709の色空間を再現します。	
	SMPTE-C	北米TV放送のNTSC方式で使用される色空間を再現します。	
	DICOM	医療画像の表示に最適化されたモード。	
	キャリブレーション 設定1 / キャリブレーション 設定2	本機はキャリブレーター(別売)を使用してキャリブレーションした結果を2つまで保存できます。 キャリブレーションしたデータは**[キャリブレーション設定1]**を選択すると適用されます。 一回前にキャリブレーションしたデータは**[キャリブレーション設定2]**を選択すると適用されます。 新たにキャリブレーションすると、**[キャリブレーション設定1]**に保存されたデータは**[キャリブレーション設定2]**に適用され、**[キャリブレーション設定2]**に保存されたデータは削除されます。	
	ヒント • **[ピクチャーモード]**をDisplayPort（DP）入力で変更すると、画面がちらついたり、PCの画面解像度に影響する場合があります。 • **[キャリブレーション 設定2]**: TRUE COLOR PROをインストールして、キャリブレーションを行うとメニューが使用できます。		
画像調整	Brightness Stabilization	画面に対応した設定で明るさを維持します。	
		オン	明るさを調整します。
		オフ	機能を無効にして、ユーザーが明るさを設定できるようにします。
	SUPER RESOLUTION+	High	最も強いレベルで超解像をかけ、画質を最適化します。高品質な動画やゲ ームにも効果的です。
		Middle	**[Low]**と**[High]**の中間レベルに超解像をかけ画質を最適化します。UCCおよびSDビデオに適しています。
		Low	滑らかで自然な画質に最適化して表示します。動きの遅い動画や静止画像に 効果的です。
		オフ	標準的な画像の場合に選択します。**[SUPER RESOLUTION+]**を無効にします。

<table>
<tr><th>Menu > 画質</th><th colspan="5">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="13">画像調整</td><td>シャープネス</td><td colspan="4">画面のシャープネスを調整します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ブラックレベル</td><td colspan="4">モニターで表示できるもっとも暗い色のレベルを調整します。
(HDMI 接続のみ)</td></tr>
<tr><td>High</td><td colspan="3">映像信号の情報をそのまま表示します。</td></tr>
<tr><td>Low</td><td colspan="3">暗い部分が暗くなり、シャープな色合いで表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">HDMI ULTRA HD Deep Color</td><td colspan="4">ULTRA HD Deep Colorに対応しているデバイスに接続したとき、鮮明な映像で表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="4">4K解像度の60 Hz表示のサポート形式1)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">解像度</td><td rowspan="2">フレームレート (Hz)</td><td colspan="2">カラー階調/クロマサンプリング</td></tr>
<tr><td>8ビット</td><td>10ビット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">3840 x 2160</td><td rowspan="4">59.94
60.00</td><td colspan="2">YCbCr 4:2:0</td></tr>
<tr><td colspan="2">YCbCr 4:2:2</td></tr>
<tr><td>YCbCr 4:4:4</td><td>-</td></tr>
<tr><td>RGB 4:4:4</td><td>-</td></tr>
<tr><td colspan="4">1) [HDMI ULTRA HD Deep Color] (ULTRA HD ディープカラー) を[オン]に設定したときに適用されます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">ヒント
• 接続しているデバイスがULTRA HD Deep Colorに対応していない場合、この機能は正しく動作しないことがあります。
• 問題が発生した場合、[HDMI ULTRA HD Deep Color]オプションを[オフ]に設定してください。</td></tr>
<tr><td>DFC</td><td>オン</td><td colspan="3">明るさとコントラストを画面に合わせて自動的に調整します。</td></tr>
<tr><td></td><td>オフ</td><td colspan="3">[DFC]を無効にします。</td></tr>
</table>

Menu > 画質	説明		
画像調整	応答速度	パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。標準的な環境の場合、**[Middle]**を使用することをお勧めします。動きの速い映像を表示させるときは**[High]**を使用することをお勧めします。**[High]**に設定すると、残像（オーバーシュート）が発生することがあります。その場合は、表示ソースに合わせて適切な速度に設定してください。	
		High	パネルの応答速度を高速にします。
		Middle	パネルの応答速度をやや速くします。
		Low	パネルの応答速度を少し速くします。
		オフ	オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度になります。
	ブラックスタビライザー	見えづらい画面の暗い部分を明るく表示し、視認性を高めます。高い数値に設定すると、暗い部分が見えやすくなり、低い数値に設定すると明暗の差が大きくなり鮮明な 画像表示になります。	
	ユニフォミティ	画面の明るさのユニフォミティを調整します。	
		オン	**[ユニフォミティ]**機能を有効にします。
		オフ	**[ユニフォミティ]**機能を無効にします。

Menu > 画質	説明		
カラー調整	**ガンマ**	ガンマのユーザー設定：**[ガンマ 1.8]**、**[ガンマ 2.0]**、**[ガンマ 2.2]**、**[ガンマ 2.4]**、**[ガンマ 2.6]**、**[DICOM ガンマカーブ]**、**[オフ]**。 ガンマ値を補正します。**[ガンマ1.8]**に設定すると中間色が明るく、数値の大きくなるに従い**[ガンマ2.6]**に設定すると中間色が暗く表示されます。 **[DICOMガンマカーブ]**はDICOMの色域に対応したガンマ値で表示します。	
	色温度	**マニュアル**	色温度を500 K単位で調整します。(9300 Kは9500 Kよりサポートされています。)
		ユーザー設定	ユーザーは赤、緑および青を使用して、カラーを設定できます。
		6500K	映像のカラーを、赤みのある6500Kの色温度に設定します。
		8500K	映像のカラーを8500Kの色温度に設定して、赤と青の間の色調に設定します。
		9300K	映像のカラーを、青みのある9300Kの色温度に設定します。
カラー調整	**赤**	RGB 各色の強弱を手動で設定します。	
	緑		
	青		
	6色相環	6 色相環（赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエロー）の色合い、彩度を調整して、より詳細なお好みの色を設定できます。	
		色合い	各色の色相を調節します。
		彩度	各色の彩度を調整します。指定色の値を大きな数値に設定すると、その色味が強くなり、小さな数値に設定すると色味を失いグレーに近い色合いになります。
	リセット	初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。	

全般

1 メインメニューの表示は モニター底面にあるOSDジョイスティックを押します。OSDジョイスティックを右(►) に倒して、**[Menu]**を選択すると、OSDメニューが表示されます。
2 OSDジョイスティックを動かして**[全般]**に移動します。
3 画面の右下に表示される指示に従って各オプションを設定します。
4 一つ前のメニューに戻る場合、別のメニューを設定する場合は、OSDジョイスティックを◀に倒すか、該当の設定項目を決定(◉/OK)します。
5 OSDメニューを終了する場合は、OSDメニューが終了するまでOSDジョイスティックを◀の方向へ動かします。

各オプションは次のとおりです。

Menu > 全般	**説明**	
言語	メニュー画面を目的の言語に設定します。	
SMART ENERGY SAVING	輝度補償アルゴリズムを用いて消費電力を抑えます。	
	High	**[SMART ENERGY SAVING]**(スマート エナジーセービング)を有効にして、より効果的に消費電力を抑えます。
	Low	**[SMART ENERGY SAVING]**(スマート エナジーセービング)を有効にして、消費電力を抑えます。
	オフ	**[SMART ENERGY SAVING]**機能を無効にします。
電源LED	モニターの前面にある電源LEDの**[オン]**または**[オフ]**を切り替えます。	
	オン	電源LEDを自動でオンにします。
	オフ	電源LEDをオフにします。
自動スタンバイ	画面に長時間何の動きもない場合に自動的にモニターをオフにする機能。自動オフ機能のタイマーを設定できます。(**[オフ]**, **[4時間後]**, **[6時間後]**, と **[8時間後]**)	

Menu > 全般	説明	
DisplayPort 1.2	DisplayPort 1.2を有効または無効にします。 ヒント • DisplayPort 入力端子に DisplayPort ™ v1.2 を適用するかを設定します。グラフィックカードが v 1.2 に対応していない場合は、**[オフ]**に設定してください。 • DisplayPort1.2 が無効の時は、DisplayPort 端子のバージョンは v1.1になります。また、10bit カラーの出力は使用できません。	
USBクイック充電	**[USBクイック充電]**は、USB 3.0ポートに接続されているデバイスをすばやく充電する機能です。	
	オン	**[USBクイック充電]**を有効にします。
	オフ	**[USBクイック充電]**を無効にします。
Beep音	この機能を使用すると、モニターに電源がオンになるとき、**[Beep音]**から発される音を**[オン]**または**[オフ]**に設定できます。	
	オン	モニターの**[Beep音]**を有効にします。
	オフ	モニターの**[Beep音]**を無効にします。
OSDロック	OSDの設定可能な項目を制限します。	
	オン	**[OSDロック]**を有効にします。
	オフ	**[OSDロック]**を無効にします。
	ヒント • **[明るさ]**、**[コントラスト]**、**[音量]**、**[クイック設定]**の**[入力]**、**[全般]**の**[OSDロック]**、**[Informaiton]**を除くすべての機能が無効になります。	
Informaiton	**[Total Power On Time]**、**[Serial Number]**、**[Resolution]**の情報が表示されます。	

リセット

1 メインメニューの表示は モニター底面にあるOSDジョイスティックを押します。OSDジョイスティックを右 (►) に倒して、**[Menu]**を選択すると、OSDメニューが表示されます。
2 OSDジョイスティックを動かして**[リセット]**に移動します。
3 画面の右下に表示される指示に従って各オプションを設定します。
4 一つ前のメニューに戻る場合、別のメニューを設定する場合は、OSDジョイスティックを◄に倒すか、該当の設定項目を決定 (◉/OK) します。
5 OSDメニューを終了する場合は、OSDメニューが終了するまでOSDジョイスティックを◄の方向へ動かします。

各オプションは次のとおりです。

Menu > リセット	**説明**
設定をリセットしますか?	
リセット	初期設定(工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。
取消	リセットをキャンセルします。

困ったとき

画面に何も表示されない。	
画面に何も映らない	• 電源コードがコンセントに正しく接続されているか確認してください。 • モニターの電源ボタンを押してモニターの電源がオンになっているかを確認してください。
電源をオンにして、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	• 接続機器が黒画面を出力している可能性があります。接続機器が正常に動作しているかを確認してください。 • 入力端子が正しく選択されていない可能性があります。映像が出力されている端子に設定されているか確認してください。(**[Menu]** > **[クイック設定]** > **[入力]**)
画面に**「範囲超過」**と表示される	• PC(グラフィック カード)から伝送された信号が、モニターの水平走査周波数または垂直走査周波数の範囲から外れている場合、または出力されるOSの解像度がモニターより大きなサイズに設定されている場合に表示されます。 • 本取扱説明書の「製品仕様」を参照して、OS上で適切な周波数または、解像度に設定してください。
画面に**「信号が見つかりません。」**と表示される	• 信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PC またはモ ニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。 • 入力端子が正しく選択されていない可能性があります。映像が出力されている端子に設定されているか確認してください。
Mac製品をDisplayPort(DisplayPort 1.2)で接続したら、画面が正常に表示されない	• Macの機種によってはDisplayPort 1.2がサポートされていない場合があります。DisplayPortのバージョンについては、製造メーカーにお問い合わせください。
映像が正常に表示されない	• 接続したグラフィックカードの映像出力端子がHDMI 2.0またはDisplayPort1.2に準拠しているか確認してください。グラフィックカードの映像出力端子が、それぞれの規格に対応していない場合は、下記のとおり設定してください。 • HDMI接続:OSDメニューを**[画質]**>**[画像調整]**の順に選択し、**[HDMI ULTRA HD Deep Color]**を**[オフ]**に設定します。 • DisplayPort接続:OSDメニューを[全般]の順に選択し、**[DisplayPort 1.2]**を**[使用しない]**に設定します。

一部のOSD メニューの設定ができない	
OSD で設定できない項目がある	• OSDがロックされています。**[Menu]** > **[全般]**の順に選択し、**[OSDロック]**を**[オフ]**に設定します。 • 現在の接続環境または表示環境に適合していない設定項目は、設定できなくなります。

画面に残像が生じる	
モニターの電源を切っても残像が見える	• 静止画映像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じること があります。 • 同一の映像を長時間使用する場合は、OS でスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される	
画面がちらつく	• 選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz（インターレース）の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を1080Pまたは推奨解像度に変更してください。

ヒント

- 垂直走査周波数：映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。1 秒間で画面が切り替わる回数を「垂直走査周波数」または「リフレッシュ レート」と呼びます。単位はHz です。
- 水平走査周波数：横線1本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1秒間で表示される横線の数は、1を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平走査周波数と呼びます。単位はkHz です。
- **コントロール パネル** > **画面** > **設定**の順に選択して、グラフィックカードの解像度または周波数がモニターの許容範囲にあるかどうかを確認し、推奨される（最適な）解像度に設定してください。（お使いのオペレーティングシステムによって設定が異なる場合があります。）
- グラフィックカードを推奨される（最適な）解像度に設定しないと、文字がぼやけたり、画面がかすれたり、表示画像が表示領域からはみ出したり、表示位置がずれたりすることがあります。
- 設定方法は、コンピューターまたはオペレーティングシステムによって異なる場合があります。また、グラフィックカードの性能によっては、一部の解像度は利用できないことがあります。この場合は、コンピューターまたはグラフィックカードの製造会社にお問い合わせください。
- グラフィックカードによっては、3840 x 2160の解像度をサポートしていない場合があります。この解像度を表示できない場合は、グラフィックカードの製造会社にお問い合わせください。

色が正常に表示されない。	
色が正常に表示されない	• 信号ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • グラフィックカードがスロットに正しく挿入されていることを確認してください。 * グラフィックカードの確認をする際は必ずPC の電源をコンセントから抜いて確認してください。 • **コントロールパネル** > **画面** > **設定** (OS によって異なります)から、OS 上の表示色を24bit または32bit のTrue Color に設定してください。
画面上に小さな点が表示される	• 液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け (ごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点) が見えることがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

モニターが認識されない	
「モニター認識されません。プラグアンドプレイ（VESA DDC）のモニターが見つかりました。」メッセージが表示される	• 付属のCD-ROMに収録されているディスプレイドライバーをインストールしてください。ドライバーは、弊社Webサイトからダウンロードすることもできます。*http://www.lg.com.* • グラフィックカードでPlug and Play機能がサポートされていることを確認してください。

音声が出力されない	
ヘッドホン端子に接続した音声機器に音声が出力されない	• ヘッドホン端子に正常に接続されていることを確認してください。 • OSD ジョイスティックで音量を確認し、調整してください。(25ページまたは27ページ) • PC のオーディオの出力先を、使用中のモニターに設定します。Microsoft Windowsで**コントロールパネル** > **ハードウェアとサウンド** > **サウンド**の順に選択して(OSによって設定方法が異なる場合があります)、モニターを既定のデバイスとして設定します。 • Windows やPC の再生ソフトウェアの音量レベルを確認してください。

製品仕様

製品の仕様は、製品の品質向上の目的で事前の通知なしに変更されることがあります。
"~"は交流（AC）を表し、"⎓"は直流（DC）を表します。

LCD画面	タイプ	TFT（Thin Film Transistor） LCD（Liquid Crystal Display）画面	
	ピクセルピッチ	0.1554 mm x 0.1554 mm	
解像度	最大解像度	3840 x 2160 @ 60 Hz	
	推奨解像度		
映像信号	水平走査周波数	30 kHz～135 kHz	
	垂直走査周波数	56 Hz～61 Hz	
入力コネクター	HDMI IN1, HDMI IN2, DP (DisplayPort) IN, H/P, USB (SS) 1, 2, USB UP (SS)		
電源	電源定格	19 V ⎓ 3.42 A	
	消費電力	最大: 65 W スリープモード：≤ 0.5 W オフモード：≤ 0.3 W	
AC/DCアダプター	DA-65J19 タイプ、Asian Power Devices Inc.（APD）製 入力：100-240 V～ 50 - 60 Hz、1.5 - 0.7 A 出力：19 V ⎓ 3.42 A クラスI		
環境条件	動作条件	温度	0～40 °C
		湿度	0 %～80 %
		気圧	700～1060 hPa
	保管条件	温度	-20～60 °C
		湿度	0 %～85 %
		気圧	500～1060 hPa

寸法（mm）	モニターサイズ（幅 x 高さ x 奥行）	
	スタンド装着時	615.0 x 425.2 x 222.6
	スタンドなし	615.0 x 365.1 x 42.7
重量（パッケージを除く）（kg）	スタンド装着時	6.2
	スタンドなし	4.7

工場出荷時対応モード

DisplayPort

プリセットモード	水平走査周波数 (kHz)	垂直走査周波数 (Hz)	極性 (H/V)	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1152 x 864	54.347	60.05	+/+	
1280 x 720	45	60	+/+	
1280 x 1024	63.981	60.02	+/+	
1600 x 900	60	60	+/+	
1920 x 1080	67.5	60	+/-	
1920 x 2160	133.32	60	+/-	PBPの推奨解像度
2560 x 1440	88.79	59.95	+/-	
3840 x 2160	66.66	30	+/-	
3840 x 2160	133.32	60	+/-	

HDMI

プリセットモード	水平走査周波数（kHz）	垂直走査周波数（Hz）	極性（H/V）	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1152 x 864	54.347	60.05	+/+	
1280 x 720	45	60	+/+	
1280 x 1024	63.981	60.02	+/+	
1600 x 900	60	60	+/+	
1920 x 1080	67.5	60	+/-	
1920 x 2160	133.29	60	+/-	PBPの推奨解像度
2560 x 1440	88.79	59.95	+/-	
3840 x 2160	67.5	30	+/-	
3840 x 2160	135	60	+/-	**[HDMI ULTRA HD Deep Color]**が**[オン]**に設定されているとき。

HDMIタイミング（動画）

プリセットモード	水平走査周波数（kHz）	垂直走査周波数（Hz）	備考
480p	31.5	60	
720p	45.0	60	
1080p	67.5	60	
2160p	135	60	**[HDMI ULTRA HD Deep Color]**が**[オン]**に設定されているとき。

電源LED

モード	LEDの色
オンモード	白
スリープモード	白く点滅
オフモード	オフ



本製品に搭載されているGPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、*http://opensource.lge.com* をご参照ください。

ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表示、保障責任がないという表示をダウンロードできます。

オープンソースコードをご希望される場合は、Eメール(*opensource@lge.com*)でお問い合わせいただければ、LGエレクトロニクスは有償(メディア代、配送料、手数料込)でCD-ROMにて提供致します。
提供の有効期間は製品ご購入日より3年間です。

取扱説明書(CD)をよく読み、必要な際に参照できるよう保管しておいてください。製品に貼付けられたラベルには、製品サポート情報が記載されています。

モデル _____

製造番号 _____

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A